


# ノスタルジオの風

【のすたるじおのかぜ】

ジャンル	RPG	
対応機種	ニンテンドーDS	
発売元	テクモ	
開発元	レッド・エンタテインメント、マトリックス	
発売日	2008年11月6日	
定価	4800円（税込）	
分類	バランスがかなり不安定なゲーム判定	

## 概要

- ▶ 冒険家・ギルバートを父に持つ主人公・エディが行方知れずになった父を探すため冒険者になることを決意するが、その際に「古き父の結社」に狙われる謎の少女・フィオナと出会うことになる。
- ▶ 広大な世界を飛空船で飛び旅をすることになり、フィールドでは飛空船で戦うことになる。

## 問題点

- ▶ 戦闘関係のバランスの悪さは特に飛空船バトルの時に顕著となる。
  - ▶ 一例を挙げると、空層を1階層上がる度にイベントを5~6個飛ばしたが如く敵が強くなる。目安として第2階層の敵は日本へ向かう頃で太刀打ちできる強さ、第3階層はラストダンジョン以降でやっと戦える位の強さ。
  - ▶ 飛空船のHPが100なのに敵の先制攻撃でダメージ57 次の敵にダメージ50でGame Overなどという目に遭うのも珍しくない、どこか頻繁にある。
    - ▶ 序盤バベルの塔に向かう頃に必ず通る第2階層、中盤でアメリカ大陸に向かうときに必ず通る第3階層で運悪く敵に遭ったら全滅必至。
  - ▶ またこちらは一隻の飛空船で戦うのに敵は複数で現れ、複数敵にフルボッコされ全滅する危険性は常に付きまとう。
    - ▶ そして飛空船バトルの際にはブレード（エディ）・ガン（パッド）・キャノン（メロディ）・オーブ（フィオナ）の各部署に配置された仲間が攻撃するが、特定パーツが使用不能の状態だと行動できない（アイテムも使えない）。
  - ▶ 飛空船自体強化の手段が「強化プレート」を購入して耐久度の最大値を上げるか、装備を買い換えるか位しかないので飛空船バトルの難易度も自然と高くなっている。
  - ▶ 地上バトルは敵の攻撃力が低めで全滅しにくい反面HPは妙に高く、そのためバトルリザルトがあっさりリセットされることも珍しくない。
  - ▶ そしてスキル配分も、攻撃の主軸となるエディに補助スキル（能力強化系）が多く振り割られているためエディが攻撃に補助に忙しい反面、メロディはボス戦では属性攻撃主体の魔法が活かせない・補助スキルが魔法反射くらいしかないためアイテム係になることが多いなど、スキル配分にも無駄が多いため戦闘を引き伸ばされやすい。
- ▶ そして快適さ周りにも問題はあある。
  - ▶ メニューの際にもショートカット的なボタンが無いため、下の方のアイテムやスキルを使うのに下ボタンを押し続けねばならず面倒。
    - ▶ そのため不要なアイテムはコレクションの欲を張らずさっさと売った方が賢明。
  - ▶ 都市間をワープするスキルや施設が無いので、いちいち飛空船で空を飛んでいかなければならない。

## 評価点

- ▶ キャラクターデザインは良い。
- ▶ 音楽はいい曲もある。
- ▶ シナリオも無問題である。

## 結論

素材自体はいいものが揃っていたのに肝心の料理人が下手糞だったという、かなり勿体無い作品である。

## その後の評価

- ▶ 一応は売れた（ようだ）が、評価は芳しくなかった。
  - ▶ 発売半年くらいで中古価格も暴落したくらいだし。